

謹賀新年  
2015年元旦



今年こそ  
いまから  
ここから



笹賀の世帯数・人口	
世帯数	4,502 世帯
人口	11,339 人
男	5,731 人
女	5,608 人
(平成 27.1.1 現在)	

### 平成27年 年男・年女のひとりごと

平成27年を迎えて、本年の抱負・目標を年男・年女の皆さんに語っていただきました。

#### ● 12歳

自分の年が初めて回ってきてとても嬉しいです。この一年を大切に過ごしたいです。  
神戸新田 中川 空濤

#### ● 24歳

今年大学を卒業し、長野で働き始めます。新たなステージで新しいことをどんどん経験し、明るく社会に貢献していきたいです。  
今 古林 碧

#### ● 36歳

家族みんなが健康で幸せな一年になればと思います。自分としてもステップアップの一年にしたいです。  
上二子 藤牧 崇光

#### ● 72歳

今年は健康に注意して、体操も休まず頑張ります。今年一年が健康で無事に過ごせればと思います。  
二美町1 白井 繁子

#### ● 84歳

趣味の編み物教室や健康づくりのウォーキングに今年も励んでいきたいです。自助努力で、自分のできることは自分で行いまわりの方と協力していきたいです。  
二美町1 清沢 敏子

今年一年が皆様にとって  
幸せな一年になりますように！

## 散歩道

一年の始まりを告げる年賀状。多くの知人から届く温かい挨拶は正月には無くても存在になっ  
ています。

インターネットが普及し、日頃の連絡はメールで簡単にできるようなまり、普段手紙を出すことはあまりありません。若い世代には年賀状もメールで送るといった方が増えているとい  
ます。

しかし、私はやっぱり、メールより紙の年賀状の方が嬉しいと感じます。パソコンでデザインされ、印刷された年賀状が多くなりましたが、印刷された年賀状の中に手書きで一筆添えられている一言。その筆跡がとても温かく、送り主のことを想わせます。また、日常がデジタル化している時代だからこそ、配達されて、郵便受けに届く、そんな所にも温かきを感じ、嬉しく感じるのかもしれない。

年賀状は新年の最初に届く、心のこもった贈り物です。今後も決してなくなることなく、情報化社会の中で温かさを伝えるツールとして存在し続けて欲しいと思います。

(N・S)

# サロン活動が行われました

～東耕地町会 歌と健康の集い～

笹賀地区では、気軽に集まり、お茶飲みをしたり、仲間作りをしたりする場として、各町会で様々なサロン事業が展開されています。今回、東耕地町会で行われた「歌と健康の集い」を取材しました。



木の笛の会の演奏

子をしていただきました。

東耕地町会では12月14日、平成26年度第2回目のサロン事業として「歌と健康の集い Part 7」を開催しました。この会は7年前に町会内の農協女性部有志が「木の笛の会」を結成し、発表の場を求めて町会内で演奏会を開催したのが始まりです。昨年から

は町会主催のサロン事業として行われるようになりました。当日は40人ほどが集まり、第一部・木の笛の演奏、第二部・ゲストのケーナ奏者吉良健一朗さんによる演奏、第三部・参加者全員で歌うコーナーがあり、最後は笹賀ブルメリヤのフラダンスを観賞しながら、女性部のみなさんの心のこもった持ち寄りのお菓



集いの様子

場が、地域の支えあいにも繋がっていくと感じました。高齢化が進み、高齢者の閉じこもりや孤立が問題にもなっており、地域での支えあいが重要になってきます。このような身近で気軽に集まれる場が、地域の支えあいにも繋がっていくと感じました。

## 平成27年 松本市成人式

1月11日(日)、松本市総合体育館で平成27年松本市成人式が開催されました。今年の対象者は平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれの方で、松本市全体で2,436名(男性1,293名、女性1,143名)の方が成人となりました。笹賀地区では、133名(男性67名、女性66名)の方が晴れて成人を迎えました。おめでとうございます。

## 平成26年度 松本体育協会表彰式典

12月2日(火)に松本体育協会表彰式典が行われ、笹賀地区からは、次の方が表彰されました。

○功労表彰

薄田 静香さん(二美町1)

○精勵表彰

藤松富美子さん(神戸)  
斎藤 竹春さん(下二子)

受賞おめでとうございます。



表彰式の様子

## 笹賀地区内の 史跡案内板と標柱の紹介 (七)

〈笹賀地区歴史の会〉

### 二美町の誕生

二美町二丁目公民館前

昭和四十年(一九六五)頃より、旧松本市内から郊外に移り住む、いわゆるドーナツツ現象が起こり始めた。それに応えて県や市は、下二子に住宅団地計画を設定し、区域を定めて宅地造成を行い始めた。市内の団地造りでは初期の取り組みであった。

四十二年四月から入居が始まり、十月一日には二美町の一丁目、二丁目の二つの町会が発足し、十月二十一日に正式に笹賀地区の町会に加入した。

町名の二美町は、二子の美しい里を意味し、公募により名付けられ、一丁目と二丁目町会に分かれた。四十三年度

の全入居終了時には約八百世帯になり、大きな町会になった。

